

入会伝承ゾーン整備基本方針

「入会（いりあい）」

- 生活と環境 コラージュの森 -

■富士山北面は、地域住民の生活の糧となる入会地として受け継がれ、森林の保護・育成が行われてきた。

さらに、山地災害の防止、CO2の吸収、多様な動植物の保全など様々な役割を果たしている。これら豊かな自然環境を未来に伝承していくため、入会文化の歴史と環境づくりや自然の営みを学び、森林の持つ機能への関心を高める場とする。

森林への関心を誘発するため、各コーナーに分類することで、入会文化に接し、現代までのときの流れを肌で感じることができる空間とする。

1. 入会シアター

地域住民が集まる入会行為の象徴である「火入れ」を紹介し、富士山北面入会地の情景をベースとしながら、大型映像による入会の活動を解説する。映像は、来館者の一定動作を感知してスタートする仕組みとする。

2. 入会文化の歴史展示

入会にまつわる歴史を視覚・聴覚により伝える場とする。大テーブルに入会の起源からの年表を展示する。絵本と模型を組み合わせることで、複雑な年表を分かりやすく理解してもらう。壁面には、組合が収集・保存している貴重な資料を個別の解説映像と併せて紹介する。

3. 森林資源の実物展示

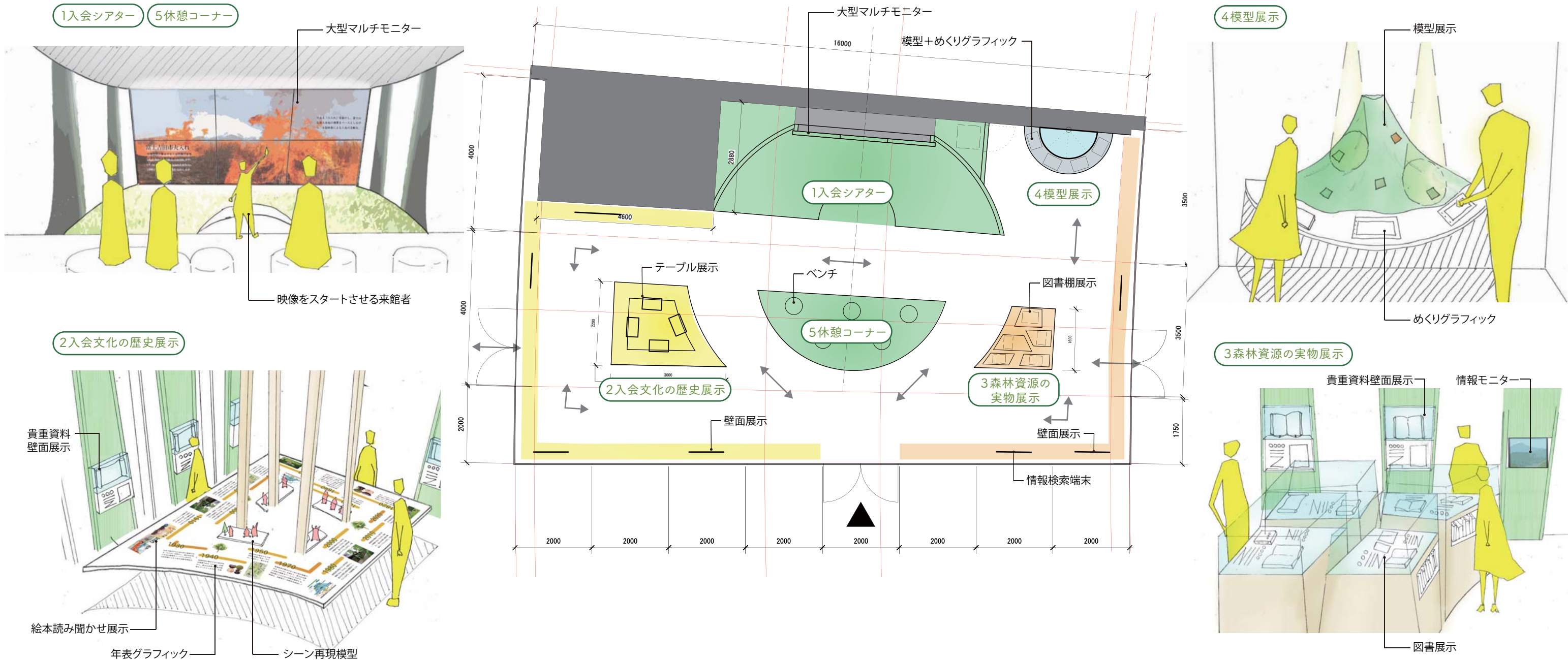
入会地において受け継がれてきた森林資源への理解を深める場とする。標本や資料を用いて入会地の自然環境を展示し、壁面を利用して図書類の掲示なども行う。

4. 模型展示

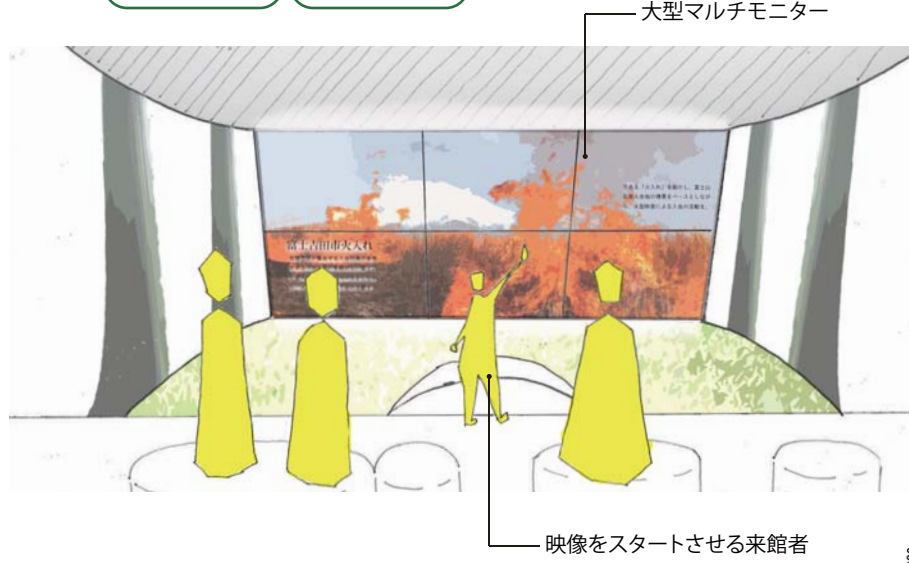
模型と映像を組み合わせ、入会地の変遷や村々とのかかわりを紹介する。模型は、実際の木材を利用して触れられる模型とし、特定の場所に木片を設置すると映像がスタートする仕組みとする。

5. 休憩コーナー

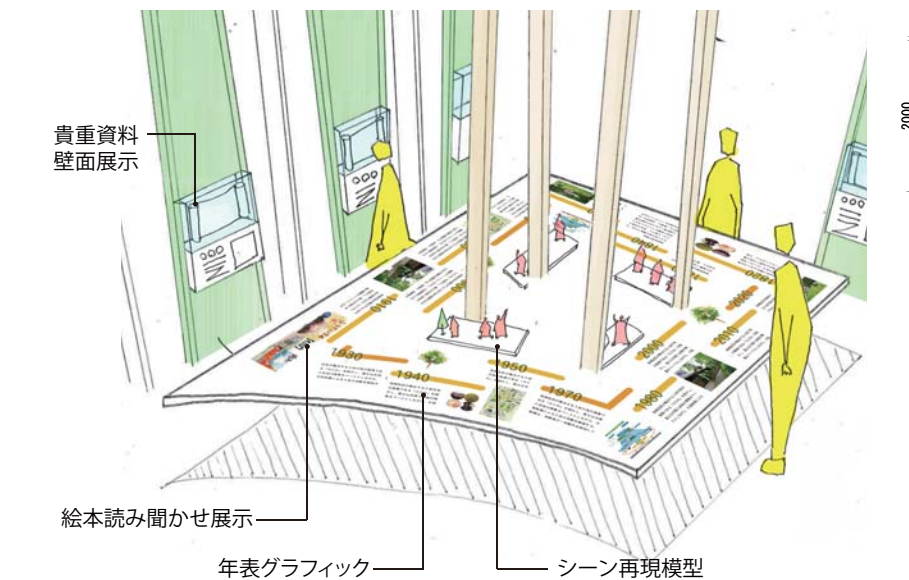
入会シアターを座ってゆっくりと観覧するとともに、休憩を兼ねたスペースとする。ベンチは固定せず、状況に応じて移動して広いスペースを確保することを可能とする。



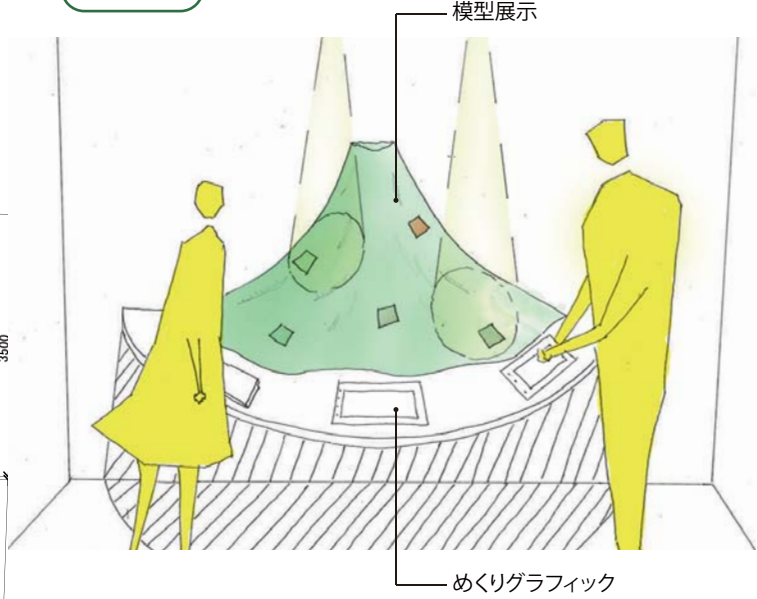
1入会シアター 5休憩コーナー



2入会文化の歴史展示



4模型展示



3森林資源の実物展示

